

|       |   |
|-------|---|
| 連絡先:  | 自動車局審査・リコール課<br>リコール監理室<br>TEL: 03-5253-8111 内線 42354     |
| アドレス: | <a href="http://www.mlit.go.jp">http://www.mlit.go.jp</a> |

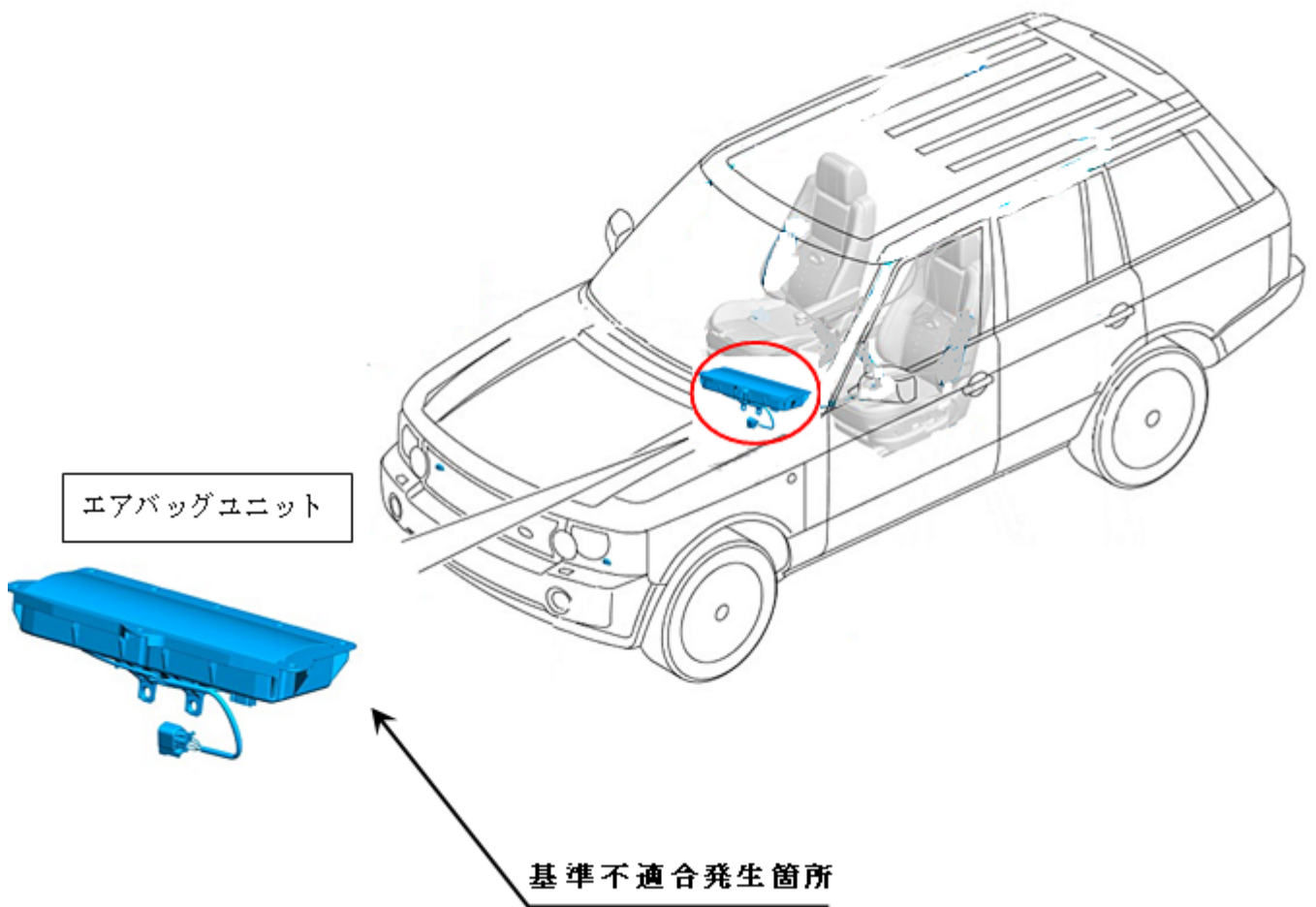
## リコール届出一覧表

リコール届出日：平成29年7月28日

|                                  |  |   |            |
|----------------------------------|--|---|------------|
| リコール届出番号                         | 外-2515   | リコール開始日   | 平成29年7月29日 |
| 届出者の氏名又は名称                       | ジャガー・ランドローバー・ジャパン株式会社<br>代表取締役<br>ハンソン・マグナス・ユタカ  | 製作国：英国<br>製作者名：ジャガー・ランドローバー・リミテッド<br>問い合わせ先：<br>ランドローバーお客様相談室<br>0120-922-992 |            |
| 不具合の部位（部品名）                      | エアバッグ装置（インフレーター）   |   |            |
| 基準不適合状態にあると認める構造、装置又は性能の状況及びその原因 | 助手席用エアバッグのインフレーター（膨張装置）において、ガス発生剤の吸湿防止が不適切であった場合、高い湿度の環境下で温度変化を繰り返すと、ガス発生剤が劣化することがある。そのため、エアバッグ展開時にインフレーター容器が破損するおそれがある。   |   |            |
| 改善措置の内容                          | 全車両、エアバッグユニットを対策品に交換する。なお、対策品の準備に時間を要することから、まずは全ての使用者に対しダイレクトメール等により連絡し、対策品の準備ができた段階で古い車両の使用者から再度連絡し、交換作業を行う。  |   |            |
| 不具合件数                            | 0件   | 事故の有無   | なし         |
| 発見の動機                            | 本国メーカーからの情報による。  |   |            |
| 自動車使用者及び自動車分解整備事業者に周知させるための措置    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・使用者：電話又はダイレクトメールで通知する。</li> <li>・自動車分解整備事業者：日整連発行の機関誌へ掲載する。</li> <li>・改善実施済車には、運転席側ドアロックストライカー付近に外-2515のステッカーを貼付する。</li> </ul> |   |            |

| 車名      | 型式        | 通称名       | リコール対象車の車台番号(シリアル番号)の範囲及び輸入期間                                 | リコール対象車の台数 | 備考 |
|---------|-----------|-----------|---|------------|----|
| ランドローバー | ABA-LM42S | 「レンジローバー」 | SALLMAM337A233813～SALLMAM339A304042<br>平成18年10月12日～平成21年3月28日 | 115        |    |
|         | ABA-LM44  | 「レンジローバー」 | SALLMAM537A240428～SALLMAM539A304218<br>平成18年11月10日～平成21年4月8日  | 194        |    |
|         | ABA-LM5N  | 「レンジローバー」 | SALLMAMD3AA305259～SALLMAMD3CA381727<br>平成21年8月3日～平成24年7月2日    | 285        |    |
|         | ABA-LM5S  | 「レンジローバー」 | SALLMAME3AA305260～SALLMAME3CA388708<br>平成21年8月3日～平成24年7月31日   | 112        |    |
|         | (計 4 型式)  | (計 1 車種)  | (輸入期間の全体の範囲)<br>平成18年10月12日～平成24年7月31日                        | (計706台)    |    |

## 改善箇所説明図



助手席用エアバッグのインフレーター（膨張装置）において、ガス発生剤の吸湿防止が不適切であった場合、高い湿度の環境下で温度変化を繰り返すと、ガス発生剤が劣化することがある。そのため、エアバッグ展開時にインフレーター容器が破損するおそれがある。

### 改善の内容

全車両、エアバッグユニットを対策品に交換する。なお、対策品の準備に時間を要することから、まずは全ての使用者に対しダイレクトメール等により連絡し、対策品の準備ができた段階で古い車両の使用者から再度連絡し、交換作業を行う。

### 識別：

助手席ドアチェックアームのボディ下側取付けボルトに白ペイントを塗布する。

は交換部品を示す。